

# 新社屋披露パーティ、 ワールドカップ他

／ dSPACE 新社屋の  
落成式

／ 地域住民と dSPACE  
のスタッフが集う

／ ワールドカップの  
キックオフ

FIFA ワールドカップが開幕したその日、パーダーボルンにある dSPACE の新社屋が正式に落成しました。近隣住民の方々、dSPACE のスタッフ、建設会社の社員や市議会議員らが集い、パーティを楽しみました。また、ドイツ主催のワールドカップが無事開幕にこぎつけたことにも祝杯を挙げました。第 2 の社屋が既に新たな場所に計画されています。

6月9日の夕刻、会社の創立者かつ社長である Dr. Herbert Hanselmann、パーダーボルン市長の Heinz Paus、建築家の Martin Wäschle らによる開会スピーチによってパーティは始まりました。彼らはとりわけ、dSPACE の順調な発展がついに新社屋の建設に至ったことへ賛辞を贈りました。Dr. Hanselmann は、新たな場所でも社屋を建設するという計画が進んでいることを示し、Giefersstrasse という地域の未来像について述べました。2006 年だけでも 70 の新規業

務を計画している dSPACE の拡大戦略により、地域の未来像はさらに豊かになることでしょう。新社屋は住宅地区のすぐ近くにあるため、dSPACE は住民の皆さんをパーティに招待し、私達を新しい隣人として知ってもらう機会を得ることができました。

**キックオフ**

同じ日に開幕した FIFA ワールドカップのキックオフに合わせ、巨大 LED モニターと映写スクリーンがパーティテントの周囲



建築家から記念樹の贈呈

試合結果に大満足

に設置されました。これによって、約 600 名のパーティ出席者はドイツ対コスタリカの試合を生で観戦することができました。ユニフォームを身にまき、国旗や笛を手にしたサッカーファンらによって、パーティ会場はまるでスタジアムのように見えました。ドイツチームがペナルティエリアに攻め込むたびに、太鼓を鳴らし、大声をあげ、熱狂的な声援が送られました。ドイツの勝利はパーティに盛り上がりを加えました。その後はもちろん、にぎやかな音楽と美味しい食事が続きました。

変圧施設 - 社屋には、電力供給のための独自の統合変電施設 (630 kVA) が用意されています。

新社屋の面積は 5240 平方メートルです。主に、製造、配送、シミュレータの組み立てなど、広いスペースを必要とする部署、さらに、カスタムエンジニアリング、販売、管理部門が入っています。

**新社屋の技術的な詳細**

コンクリートコア温度調節 - 送水管コイルをコンクリート天井内に設置することにより、すきま風とは無縁の冷暖房が可能になります。

空調設備 - エアコンによって、ミーティング用設備を統合した広いホールなど、窓のないエリアでの温度や外気供給を調節します。

キャビティブロア - 廊下やオフィスの二重フロア構造でケーブルや配管を収納します。

静電放電対策フロア - 製造エリアの特殊床張り



次の新社屋披露パーティが今から楽しみ？



学生生活のなごり：  
オートバイや自転車がたくさん



サッカー、音楽、食事 -  
誰でも共有できるもの



色とりどりの各国サポーター達



バンド「The Speedos」の  
演奏でパーティは最高潮



パーティで夜まで